

2023年8月21日

大阪狭山市議会議長

北好雄様

要望者 氏名 北原隆志

大阪狭山市西山台 6-14-10

ディオフェルティ西山台 305号

Tel

上下水道料金の福祉減免の継続を求める要望書

猛暑、物価高騰、コロナ感染も完全には収束しない中で、一人暮らしの高齢者や障がい者世帯、低所得世帯は厳しい暮らしのもとに置かれています。

この厳しい暮らしに向けて数日前に古川市長名で「上下水道料金の福祉減免制度の廃止について」とのお知らせが郵送されてきました。福祉減免廃止により現在受給できている上下水道料金の基本料金2か月につき3520円が受けられなくなります。

住民税非課税の一人暮らしの高齢者や障がい者世帯に、命、暮らしに欠かせない水を低料金で安定的に供給する施策は、市が令和3年度（2021年）に策定した総合計画の5つのまちづくり目標の一つである「住み慣れた地域で安心して健康で生き生きとくらせるまちづくり」にとって欠かせない真に支援が必要な方々への施策ではないでしょうか。上下水道の福祉減免の制度は大阪狭山市の他市にも誇るべき福祉施策の一つだと思います。

令和5年度市政運営方針では長期化している物価高騰にふれ、特に負担感が大きい低所得世帯への支援について先行して取り組んでいるところであり、と述べられています。その方針からすれば上下水道の福祉減免の廃止は方針と真逆の施策です。



上下水道の福祉減免の制度は昭和56年(1981年)から40年以上存続した施策として市民的に定着しています。

市は廃止の理由に「多様に複合化する福祉ニーズに応じてまいりため」と言いますが、そのために住民税非課税の一人暮らしの高齢者や障がい者世帯など社会的弱者への経済的支援を打ち切っているのでしょうか。

また、大阪広域水道企業団に加入したことを廃止の理由にしていますが、加入しても大阪狭山市の福祉施策として市の独自の判断により福祉減免を継続しても市民の理解は得られると思います。

以上から次の事項を要望します。ご審議のほどよろしく願います。

記

上下水道料金の福祉減免制度を廃止しないで、継続してください。